

令和4年度 決算報告

城里町の令和4年度決算が9月の定例会で認定されました。町民の皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などがまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

歳入 107億2,489万5千円
前年度比9.7%減

一般会計

歳出 102億2,293万4千円
前年度比10.0%減

町税の内訳と町民1人あたりの町税負担額

町民1人あたりに使われたお金

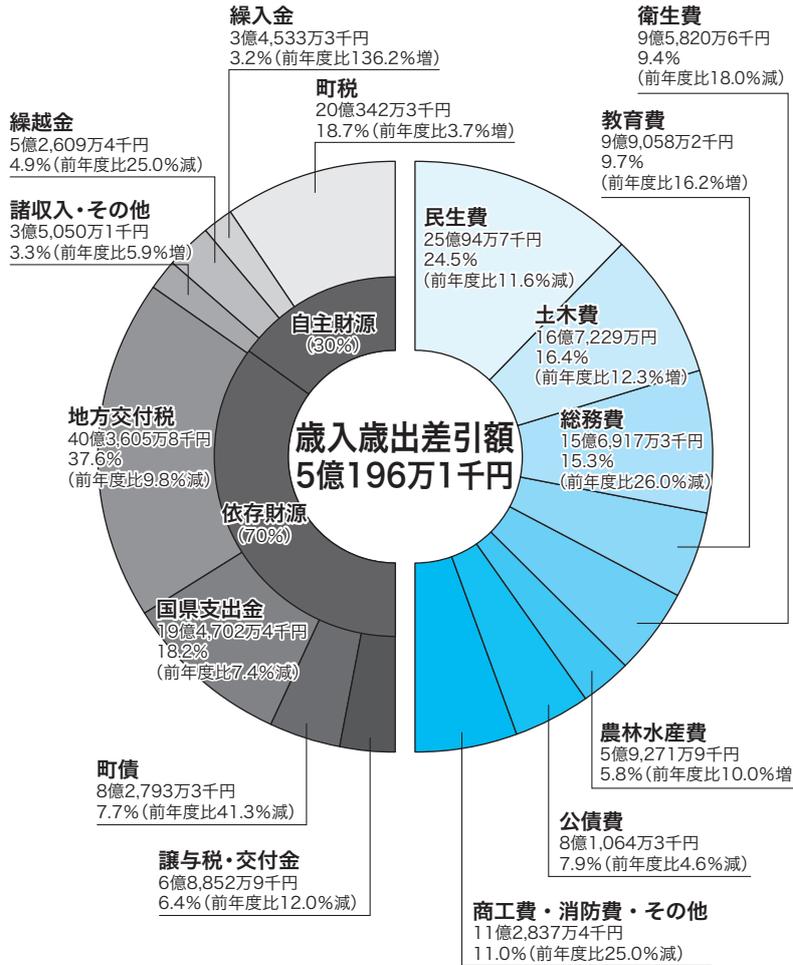
町民税
7億9,532万6千円
1人あたり
43,570円

固定資産税
9億6,587万1千円
1人あたり
52,913円

軽自動車税
8,528万1千円
1人あたり
4,672円

町たばこ税
1億3,505万1千円
1人あたり
7,399円

入湯税
2,189万4千円
1人あたり
1,199円



- 民生費** 137,008円
高齢者福祉、児童福祉
- 土木費** 91,612円
道路整備、公共住宅の管理
- 総務費** 85,963円
庁舎管理、徴税、選挙
- 教育費** 54,267円
学校整備、社会教育
- 衛生費** 52,493円
健康診断、ごみ処理
- 農林水産費** 32,471円
農林水産業の振興
- 公債費** 44,409円
町の借金の返済金
- 農工商費・消防費・その他** 61,815円
商工業の振興、消防団の運営など
- 一般会計 歳出総額** 560,038円

※ 令和5年3月31日現在の人口18,254人で算出

歳入

町債は臨時財政対策債の発行抑制や令和3年度に大規模事業(防災無線更新等)が完了したことなどにより、前年度比41.3%の減となりました。地方交付税はごみ処理施設等整備事業の進展をうけて当事業に対し交付された震災復興特別交付税が減ったことなどにより、前年度比9.8%の減となりました。

一方で諸収入等はふるさと納税の大幅な増加や教育寄附金(那珂川のほり教育支援基金を創設)の受け入れなど寄附金の増により、前年度比5.9%の増となりました。

歳入は、昨年度と比べ全体的にそれぞれの科目で減少傾向にあり、歳入総額は9.7%減となりました。

歳出

教育費は、小学校等の老朽化にともなう施設改修事業を行ったことにより前年度比16.2%の増となりました。民生費は、令和3年度子育て世帯等臨時特別支援給付金給付事業の完了により前年度比11.6%の減となりました。消防費等は、防災行政無線の更新工事が完了したことにより、前年度比25.0%の減となりました。

また、衛生費は引き続き新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施した一方で、ごみ処理施設等整備事業の進展による事業費の減をうけて、前年度比18.0%の減となりました。

その他、総務費、公債費も減少しており、歳出総額は10.0%の減となりました。

◆特別会計・企業会計◆

会計名		歳入	歳出	差引額
国民健康保険特別会計(事業勘定)		20億8,297万3千円	20億6,502万1千円	1,795万2千円
国民健康保険特別会計(施設勘定)		2億1,656万3千円	2億1,502万6千円	153万7千円
後期高齢者医療特別会計		2億5,579万1千円	2億5,565万4千円	13万7千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)		25億1,575万8千円	24億657万9千円	1億917万9千円
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)		622万1千円	533万円	89万1千円
水道事業会計	収益的収入・支出	6億6,721万3千円	6億6,272万5千円	448万8千円
	資本的収入・支出	1億4,005万1千円	3億6,161万4千円	※△2億2,156万3千円
下水道事業会計	収益的収入・支出	11億5,787万3千円	10億7,366万8千円	8,420万5千円
	資本的収入・支出	4億9,949万2千円	8億2,694万5千円	※△3億2,745万3千円

※不足額は当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額ならびに過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

●基金●

基金	残高
うち財政調整基金	65億6,082万3千円
うち公共施設整備基金	27億5,114万7千円
	7億181万8千円

○公共施設整備基金の用途○

医療福祉、障害者福祉、保育事業	4,000万円
道路維持補修事業	1,000万円
合計	5,000万円

※公共施設整備基金とは、町に交付された競輪場外車券売場交付金(サテライト水戸の売上の0.8%)を積み立てて、後年度の保健福祉事業、教育事業およびコミュニティ事業等ならびに施設整備の財源とするために取り崩すことができる基金です。令和4年度は、42,189,544円が交付され、同額を基金に積み立てました。

●主な町の財産●

行政財産	土地	785,223㎡
	建物	112,309㎡
普通財産	山林	2,160,516㎡
	土地	179,354㎡
	建物	5,368㎡

■地方債■

地方債現在高	217億4,611万1千円
うち一般会計	118億3,920万5千円
うち特別会計	1億9,921万円
うち企業会計	97億769万6千円

財政分析指標 健全化判断比率

健全化判断比率とは自治体の財政状況を示す指標で、数値が低いほど自治体の財政状況は良好と判断します。

城里町においては、近年、実質公債費比率および将来負担比率ともに減少傾向にあり、令和4年度もすべて基準値を下回っていますが、引き続き起債発行事業を精査するなど、計画的な財政運営に取り組みます。

この基準を超えると、財政健全化計画を作成し、改善に取り組みなければなりません。

指標	内容	令和3年度	令和4年度	早期健全化基準(令和4年度)
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	—	—	14.26%
連結実質赤字比率	全会計(一般会計・特別会計・企業会計)の赤字の割合	—	—	19.26%
実質公債費比率	借入金(地方債)の返済額の割合	9.0%	8.8%	25.0%
将来負担比率	借入金(地方債)など将来負担が見込まれる負債の割合	45.0%	42.2%	350.0%

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、黒字であるため数値の表記はありません。

問合せ 財務課 ☎029-288-3487(直通)